

京都府立丹後海と星の見える丘公園

データ検証	公共性	B	有効性	C	効率性	C
課題・問題点等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊棟の利用率が低く、直近3年間の利用者数も減少している。 特に冬季の宿泊棟の利用が低迷している。 ・ 宿泊定員が少なく(32名)、学校・学級単位での利用が困難なことが、利用率低迷の要因の一つと考えられる。 ・ 府費負担割合が高いが、これは無料入場エリアを有していることが影響しているものと考えられる。 					
検証結果	<p>要改善</p> <p>冬季期間の営業については、指定管理業務として義務付けないものとするべきである。</p> <p>ただし、指定管理者が自主事業等で当該期間も施設を活用することはさまたげない。</p> <p>(理由)</p> <p>地理的条件等により、今後も冬季利用の飛躍的な増加が見込めないため。</p> <p>教育委員会はもとより、地元自治体、地域団体等との連携など利用促進の取組の強化を図るため、利用者数等の目標値を募集要件に設定すべきである。</p> <p>(理由)</p> <p>利用率が低迷していることから、施設目的に照らし、より多くの府民に施設の価値を還元すべく、施設の効果的・効率的な運営に向けた改善が必要と考える。</p>					